ホンシャクナゲ ［ 本石楠花 ］

常緑／中高木／木本植物／在来種

科　名　ツツジ科（APGⅢ）

特　記　生長：やや遅い

４～６月に枝先に多数の花を華やかにつける。淡紅紫色(時折白色）の花弁は７裂し、花、葉ともに枝先に集まるように密生する。ツクシシャクナゲの変種。ツクシシャクナゲは葉の裏に褐色の軟毛を密生するが、本種は灰褐色で毛が少ない。単に「シャクナゲ」とも呼ばれる。

葉

花

葉と花

葉の表裏

Memo

「ツクシシャクナゲ」の変種が「ホンシャクナゲ」と呼ばれるため基本種と勘違いされやすい。

お手入れカレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花　期				■	■	■						
果　実	（花後にできる蒴果（さくか）は花殻とともに除去する）											
紅　葉												
施　肥	■	■	（緩効性肥料がよい）					■	■			
剪　定						■	■	（花後早めに）				
						★	★	★				

★：花芽分化の時期（分化後に剪定すると花付が少なくなる）

好みの環境					
日当り	陽	○	○	○	陰
土　壌	乾		○	○	湿
寒　さ	強	○			弱
暑　さ	強			○	弱
潮　風	強			○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○					

ポイント

夏は半日陰になる環境が適している。根に直射日光が当たると高温障害を起こしやすいため、マルチング材などで覆い保護する。酸性土壌を好むので鹿沼土やピートモスで調整するとよい。

剪　定

生長は比較的遅く枝先に花をつける。刈り込まずに飛び出した枝を切り戻す程度にすると花をたくさん咲かせる。今年咲かなかった枝は翌年の開花枝として残す。花後、花殻を取り除くとよい。

病虫害

ハマキムシ、グンバイムシなどツツジ科植物共通の被害を受ける。風通しが悪いとカイガラムシが発生、夏の強い日差しを受けると褐斑病など葉に病害を生じやすい。

SEKISUI HOUSE
COPYRIGHT©SEKISUI HOUSE,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.